

かわら版あおば消防通信 36号

平成28年10月発行：横浜市青葉消防署 協賛：青葉火災予防協会

注意！ 消防をかたる不審な電話が相次ぐ

横浜市内で、消防をかたる人物から「一人暮らしの方に、防災グッズを配布しているの
で住所を教えてください。」などという不審な電話があったとの相談が寄せられています。

消防局では、防災グッズの郵送による無償配布を行ったり、住所
や世帯の状況などをお尋ねすることはありません。

住所や世帯の状況などの個人情報を、安易に知らせないようにして
ください。

また、消防署が送り主になっている不審な郵便物が届いた場合には、
受け取らないようにしましょう。

不審な電話がありましたら、消防署にご連絡ください。



【相談概要】

事例1 消防署をかたり「防災グッズを送りますので、部屋番号を教えてください。
届いたら中身をすぐに開封して内容を確認してください。料金は無料です。」
と電話があった。

事例2 消防局をかたり「一人暮らしの高齢者の方に防災グッズを無料で配ってい
るのですが、お宅は一人暮らしでしょうか。」と電話があり、「消防署の誰
なのか？」と尋ねると電話を切られた。

【主な特徴】

- ・一人暮らしの方に、無償で防災グッズを配布するということ。
- ・消防をかたり、住所や世帯の状況などの個人情報を尋ねていること。

秋の火災予防運動を実施します

これから冬になると空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季となります。火災の発生
を防止し、死傷者や財産の損失を防ぐことを目的として広報等を実施します。

★防火ポスター展 <青葉区役所1階：11月9日～11月15日>

区内の小学生から、「火事を減らす」をテーマにしたポ
スターを募集しました。火事の恐ろしさや、火災予防の
大切さが伝わる力作揃いですので是非ご覧ください。



防火ポスター 27年度 最優秀作

★駅頭広報 <市が尾駅、たまプラーザ駅、青葉台駅>

火災予防に関するチラシやポケットティッシュなどを
配布して、火災予防に対する普及啓発を行います。

★ミニ防災相談・体験会 <たまプラーザテラス：11月9日 11:00～14:00>

防災用品の展示や消防職員が防災に関するご相談、音楽隊のコンサートを行います。
皆さんが気軽に立ち寄りやすいように、オープンスペースで防災相談・体験会をやり
ますので、是非お立ち寄りください。

「防げるケガ」で痛い思いしてませんか？

近年、救急隊の出場件数は増加傾向にあり、救急搬送された方のうち、ケガによるものは、他の原因に比べて増加率が高いことがわかりました。

ケガの原因は10代未満～90代以上まで、すべての年齢層において、「転倒」が1位となっています。つまりケガの予防については、すべての年齢層で「転倒」は共通の課題になっています。

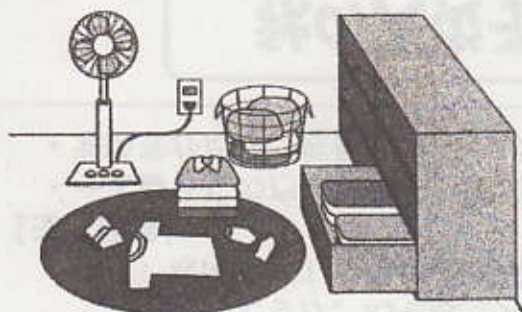
ケガによる救急搬送の中には、危険性を事前に知っていれば、防止できたのではないと思われる事例が多く見受けられます。

ここではその一部を紹介しますので、危険を察知して、ケガを未然に防ぎましょう。



① 転倒

1 こんな時、どのような事故が起きるか想像してみましょう。(危険予知トレーニング)



事故予防のためのチェックリスト

- ☐ 電気機器のコードは乱れていませんか。
- ☐ タンスの引き出しはしっかり閉じられていますか。
- ☐ 床に滑りやすいものが置かれていないですか。

— 転倒は各年代共通して最も多く発生しています。 —

2 主な事故(実際にあった事例です)

高齢者

- 段差につまずいて転倒し、足を骨折
- 床マットで滑り転倒し、股関節を脱臼
- 駅の点字ブロックにつまずいて転倒し、あごをケガ

大人

- トイレに行こうと暗い部屋を移動中に転倒し、あごをケガ
- 毛糸の靴下を履いていたため床で滑り転倒し、腕を骨折

子ども

- 水に濡れた廊下で足を滑らせて転倒し、頭をぶつけた
- スケートボードをしていて転倒し、頭をぶつけた

乳幼児

- 床に置いていた毛布で足を滑らせて転倒し、頭をぶつけた
- 床に落ちていたビニール袋で足を滑らせて転倒し、頭をぶつけた
- 駐車場を歩行中に車輪止めに つまずいて転倒し、頭をぶつけた

3 事故予防対策

部屋を明るく

行動するときは部屋を明るくしましょう。

滑らない対策

手すりを設置しましょう。また、スリッパや靴下は滑りにくいものを履きましょう。

整理整頓

部屋の整理整頓を心がけましょう。

高齢者では、入院するような大ケガになることもあります。普段から部屋の整理整頓などを心がけ、事故防止に努めましょう。

事故例



扇風機のコードで転倒

タンスの引き出しで転倒

床に置いていた洗濯物で転倒

消防署では、「救急搬送事例から見た ケガの予防対策」のハンドブックを配布しています。転倒以外にも、「転落」「ぶつかる」「切る・刺さる」「ものが詰まる・誤って飲みこむ」「やけど」など、たくさんの場面の対策が載っていますので、ご希望の方は、消防署までお問合せ下さい。 <青葉消防署 予防課予防係 045-974-0119>

青葉消防団の主な活動(11月)

- 11月3日 青葉区民まつり 2016 防災café 出店
- 11月13日 消防団員意見交換会
- 11月15日 女性消防団員合同研修(神奈川県消防学校)